

馬パラチフスとは

馬パラチフスは、サルモネラ・アボルタスエクイというサルモネラの一種で、妊娠馬に流産や子馬の関節炎を起こす疾病です。

1 感染経路

- 馬インフルエンザのような空気感染はなく、菌が鼻汁や糞便に存在しないことから、馬同士の接触感染は起こりにくい。
- 一般的には、**保菌馬**が牧場に導入され、**その馬が流産**または排菌し、大量の**菌に汚染された飼料や水を経口的に摂取**することで感染するが多い。
- 菌の運び役として、人やキツネ・カラス等の野生動物があげられている。

2 症状

- ◆妊娠馬：**流産**を起こすが、感染した馬すべてが流産する訳ではない。流産胎子や胎盤、悪露には多量の菌が含まれており、感染源となる。流産は、胎齢5～8か月に多く、突然に起きることが多いが、1～2日前に発熱、漏乳、悪露が見られることがある。
- ◆当歳馬：虚弱や発熱、四肢の**関節炎**等の症状を呈する。

3 流産が発生したら・・・

- 速やかに**隔離**、汚染場所の**消毒**の実施が重要である。
- 飼養馬は移動を自粛し、感染馬摘発のため血液検査を実施する。

4 予防

- 有効なワクチンはない。
- 日頃の清掃、消毒の徹底：パコマ、クレンテ、消石灰が有効。
- 馬の個体管理を徹底し、健康状態、衛生状況を確認する。
- 野生動物の厩舎・飼料保管場所への侵入防止。
- 発生の発端は、保菌馬の導入によることが多いため、導入馬は一定期間隔離し、健康状態を確認する。

北海道十勝家畜保健衛生所

帯広市川西町基線59番地6

電話 0155-59-2021

夜間・休日TEL 0155-26-9005（十勝総合振興局）